

ほんと 保健室

てんかん

シリーズ ③

治療について

Q. 「てんかん」の診断がついたのだけど、どんな治療があるの？

A. てんかん発作の治療は、薬物療法（抗痙攣薬・抗てんかん薬）が中心です。
その他にも、脳外科的手術、食事療法などもありますが、適応となる患者さんは少数で、一般的ではありません。今日では、多数の優れた薬物が開発され、治療成績も向上してきています。

★てんかん薬は、発作の型や、状態などによって使用される薬が選択されています。

主な薬・・・部分発作：テグレトール・アレピアチン・エクセグラン等

全般発作：デパケン・アレピアチン・エクセグラン・等

★薬物治療の問題点★

第1に、薬物は発作を抑制しているもので、原因自体を治癒するものではありません。

第2に、副作用の問題です。薬物療法は予防的なもので、長期に渡り、発作のない時期にも服薬することになります。
したがって副作用の問題がさけられません。

第3に、治療を中止できる時期の明確な基準はありません。

治療成功のための秘訣

1. 規則的に必ず服用する。
服用期間が1～2週間程度で薬の量を加減することは禁物です。勝手な判断で急激に中断することも避けてください。重責発作を起こすことがあります。
2. 副作用の出現に注意する。
3. かぜ薬などを飲む際も原則として継続してください。（不明な点は主治医に相談してください。）